

(別記様式)

令和5年度 京都府立朱雀高等学校 通信制課程 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（ **計画段階** ・ **実施段階** ）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 生涯学習と社会的自立の基盤となる基礎学力を身に付け、社会に主体的・自律的に参画できる心豊かでたくましい人間の育成を目指す。 2 生徒の期待に応え、生徒の多様性が尊重される学校体制を作るとともに、生徒自身が将来に展望をもち、学び続けられる「生徒本位」の学校づくりに取り組む。	1 多様な生徒が在籍している現状を鑑み、各種教材やテスト等の改善、ICTを活用したスクーリングの効果的な実施方法について研修を深めた。 2 生徒の単位修得と卒業に向けて、教職員全体で、指導の精緻化を進めた。 3 教職員全体で特別支援教育に係る理解を一層深め、生徒の実態を把握しながら寄り添った指導ができるよう研修を深める必要がある。	1 ICT機器を活用したスクーリングの効果的指導方法を研究し、生徒の自学自習が一層進むよう、学習支援の在り方を研究する。 2 卒業者数、単位修得者数の増加を目指し、ガイダンス機能を充実する。 3 特別な支援が必要な生徒の学習が円滑に進むよう、教職員の理解を一層深めカウンセリングマインドを基盤にした対応能力の向上をはかる。様々な機会を通じて、関係機関との連携、HPやパンフレットの充実、説明会等で通信制課程の広報に努める。

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題
1 組織・運営	・学校経営方針に即した組織や体制を整え、学習指導の充実・改善に努める。 ・通信制課程の特色を外部に発信する広報活動の拡充を図る。 ・令和5年度開催の全通研京都大会に向けた校内体制の整備をはかるとともに、他の通信制高校との交流をすすめる。	・学校経営計画に基づき、分掌・担任・教科が連携して、具体的な取組を実施することで、教育活動の充実に努める。 ・ホームページの刷新、充実と利用促進を図るとともに、あらゆる機会を使って広報を充実する。 ・全通研京都大会に向けて校内体制を確立し、関係機関と連携し、準備に努めるとともに他校との交流を通じて教員の指導力を高める。	
2 教育課程の編成と実施	・単位制の特色を生かし、多様な生徒にそれぞれの能力・興味・関心に応じた幅広い選択科目を設置し、生徒一人一人の個性伸張を図る。また多様な学習履歴を持つ転編再入学生の学習が円滑に進むような教育課程の編成を進める。	・基礎力の充実に主眼を置いた科目と特色ある科目を設置し様々な要望に応える。 ・特色有る教育課程の編成を前提に、本人の能力適性を見極め、生徒自身が適切な受講科目登録ができるよう指導する。	
3 学習指導	・生徒が自ら学び自ら考える力を培うことを基本とし、基礎学力の充実をはかる。単位修得と卒業に向けて生徒の学習進捗状況を把握しながら個に応じた適切な指導ができるガイダンス機能を整える。	・スクーリング(面接指導)の日程と内容、レポート(報告課題)、テスト(考査)の内容を「学習ガイド」としてまとめ、生徒が年間を通じて計画的かつ継続的に学習するよう指導する。 ・「学習ガイド」の内容を生徒が理解しやすいような内容になるよう継続的に検討する。	

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題	
3 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着を第一としたレポート作成やスクーリング指導をすすめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領で定められた面接指導のあらゆる場面において、生徒の多様性を尊重しながら個に応じた丁寧な指導ができるよう心がける。</li> <li>学習内容の定着に重点を置き、かつユニバーサルデザインを意識したレポートやテスト作りの工夫を学校全体で共有しながら取り組む。</li> <li>生徒の学習が一層進むよう、スクーリングやテスト日のあり方や、ホームルーム指導のあり方などについて教職員間で検討をすすめる。</li> </ul>		
4 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な年齢層の生徒、支援を必要とする生徒、仕事や家庭と学習の両立を図る生徒など、多様な生徒の学習活動が充実するように援助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい学習環境づくりを推進するため、全教職員で登下校時に校門立哨指導を実施する。</li> <li>全教職員で放課後の校舎内外の清掃等を、全てのスクーリング日・テスト日で実施する。</li> </ul>		
5 特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動や学校行事、部活動、人権学習などを通して、相互交流を促し、生徒が学校生活に慣れ親しみ、積極的に学習に取り組める環境となるよう指導、支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動においては、行事の企画・運営等について生徒が協力しながら自主的に企画・運営できる能力を育成する。</li> <li>部活動においては、健康面と安全面に十分配慮しつつ、共通の興味や関心に基づく活動が継続できるよう支援する。</li> <li>特別活動を通じて、生徒の自主性・自立性を高め、互いを尊重する態度を涵養することで、生徒が充実した学校生活を送れるよう、指導・援助する。</li> </ul>		
6 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりの人権意識を高め、自他を個人として尊重する姿勢や態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人権問題を中心テーマに設定した学習会を実施し、一人ひとりの尊厳と人権を尊重する教育の推進を図る。</li> </ul>		
7 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の進路希望・適性、学力を的確に把握し、様々な機会を通して進路情報を提供し、生徒の進路保障に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職説明会や就職セミナーを開催するとともに、ハローワーク及び京都自立就労サポートセンターとの連携を通じて、就職指導の充実をはかる。</li> <li>個別相談・個別指導を充実させる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身が的に自分の進路を考え望ましい職業観・勤労観を身につけながら、自らの進路実現に向けて、主体的に取り組む姿勢を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学説明会を実施するとともに、個々の生徒への助言を通じて、進学希望者の進路実現を支援する。各種発行物を通じて、進路実現に向けた啓発につとめ、生徒の進路意識向上に努める。</li> <li>8月転編入生への進路指導を充実させる。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームルーム活動において、学年部と連携しながら進路指導を充実させ、個別相談・個別指導機能を高める。</li> </ul>		

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題	
8 健康 安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身の健康を生徒が自ら管理できるように支援する。</li> <li>生徒の美化意識の向上に向けた指導を充実し、学習環境の維持向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな配慮や特別支援が必要な生徒の実態把握に努め、必要な支援を行うとともに教職員の対応能力向上に努める。</li> <li>ホームルーム活動や「保健だより」の発行を通じて生徒の健康の自己管理能力の増進を図る。</li> <li>心身の健康の保持と増進に係る啓発に努める。</li> <li>薬物乱用の防止学習会を早期に実施し、生徒が薬物の害毒を身近な問題と捉え、誘惑に負けない対処法を身につけるよう指導する。</li> <li>ホームルーム活動を活用した美化指導や環境衛生等に関する啓発を行い、環境美化の意識向上を図る。</li> </ul>		
9 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な学習環境づくりを全教職員が一致して推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期環境衛生検査の実施、校内安全点検・環境衛生点検等を随時実施し、環境美化と安全な学習環境づくりに努める。</li> <li>健康診断等の各種調査を通じて生徒の心身の健康状況を適確に把握し、心身の健康増進に努める。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携する。</li> <li>危機管理体制（不審者対策、防火・防災管理）の確立を図るとともに、教職員の意識高揚と実践的対応力を身につける。</li> </ul>		
10 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修会を通じて、教職員の資質を高めるとともに、教育活動に活かすことのできる実践的な研修内容を検討する。</li> <li>通信制課程の課題を明らかにし、課題解決に資する研修を企画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分掌が企画する教職員研修会を企画し、その実施・運営・充実に努める。</li> <li>三課程合同で研修会を企画・開催する。</li> <li>特別支援教育校内委員会等を通じて、生徒理解を進め、適切な対応方法を学び教育実践に活用する。</li> <li>全国、近畿の通信制研究会の研修会や全国大会等に参加し、通信制課程の教育の在り方について研究を深める。</li> </ul>		
11 情報・ 文書管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内ネットワークの維持管理に努める。</li> <li>情報発信の基本となるホームページの改善、充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間での情報共有を進めるための効果的なネットワーク活用やICT機器活用について研究する。</li> <li>他校の事例等も参考にしながら通信制におけるホームページの活用法を研究、更新を通じて学校生活などを発信する。</li> </ul>		

評価領域	重点目標	具体的方策	成果と課題		
12 家庭・関係機関との連携	・積極的な情報発信による開かれた学校づくりを推進する。	・「朱雀だより」の発行やホームページの更新を通じて情報発信・家庭への広報を推進する。			
		・福祉関係機関や児童相談所等の関係機関と連携し、生徒が卒業に向けて積極的に学習活動に集中できるよう支援する。			
		・個別相談の要望に極力応え、通信制課程への理解が深まるよう広報に努める。保護者の意見や教育活動の中で指摘のあった事項を受け止め教育活動の改善・充実に努める。			

学校運営協議会・評価委員会による評価	
--------------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--

A：十分に達成できている    B：ほぼ達成できている    C：達成できているとはいえない    D：ほとんど達成できていない
--